

## 在天会員記念礼拝

10月25日(日) ①午前9時半・②11時半  
司式 上田充香子

前奏	
招詞	ヨハネの黙示録14:13
頌栄	21-83(1節) [1-546]
交読詩編	90(104頁)
主の祈り	(交読詩編に添付) [1-564] <子どもメッセージ>
讚美歌	58(1、4節)
使徒信条	(交読詩編に添付) [1-566]
聖書	詩編23:1~6 (旧約聖書854頁)
祈禱	
讚美歌	479B(1、2節)
説教	「死の陰の谷を行くときも」 牧師 古屋 治雄
祈禱	
讚美歌	519(1、3節)
献金	
報告	
頌栄	21-28 [1-545]
祝禱	
後奏	

### ◇ 今日の集会 ◇

- CS中高生会(オンライン)午後1時
- 地の塩会役員会(オンライン)午後2時半
- 墓前礼拝 午後3時 於:東京霊園  
説教:「死は勝利にのみ込まれた」  
牧師 古屋 治雄  
聖書:コリントの信徒への手紙一 15:50~58

☆西東京教区を覚えて—今週は桜ヶ丘教会(朝井真土牧師、朝井フミ子牧師)のために祈りましょう。

今週の祈禱課題「地の塩会修養会のために」

11月3日(火)に地の塩会の修養会を行います。聖書箇所はイザヤ書41章9~10節、「聖書に学ぶ困難の乗り越え方~逃げるは恥だが役に立つ?~」というテーマで行います。(数年前に流行ったドラマのタイトルをお借りしました。もともと「逃げるは恥だが役に立つ」はハンガリーのことわざで、「自分の戦う場所を選べ」ということを意味しているそうです。)聖書の中には困難な状況に直面する人たちが多く登場します。中には逃げ出した人もいます。時代が異なっても、現代の私たちも多くのことに直面し、逃げ出したくなることもあります。そんな時聖書の中の人々はどう対処したのかということ、御言葉に聞きたいと思っております。

今年にはコロナの影響で1か所に集まることはできずzoomにて行う予定です。zoomにて行うことはデメリットばかりではなく、小さな子どもを抱えたメンバーも子どもと一緒に参加できるメリットがあると気づかされました。コロナの影響で、出産後に教会で会えていない赤ちゃんも参加予定なのでとても賑やかな会になりそうです。離れていても同じものを体験したいということで、参加者にはティーバッグの入ったお手紙を送る工夫もしています。同じお茶を飲みながら、語り合うひと時にもしたいと思っています。

また地の塩会の青年の中には、医療従事者や教育現場で働くエッセンシャルワーカーが多くいます。コロナの困難な中であっても、彼らは日常生活をおくるために欠かせない仕事を担っています。ぜひ彼らの働きを覚えて頂きたいと思っております。

また、ここ数年の間に子どもが誕生したメンバーも多くいます。移動の制限や人との接触を避けなければいけない中、一生懸命子どもを育てているメンバーとそのご家庭の上に祝福があるようにお祈りください。一人でも多くの青年が修養会に集められ、聖書に学び交わりを深める時間になることを祈っています。

二〇二〇年度 教会標語「愛する兄弟たち、動かされないようにしっかりと立ち、主の業に常に励みなさい。」—コリント十五章五八節

次週礼拝 11月1日(日)  
午前9時半・11時半

### 降誕前第8主日礼拝

説教	「わき腹をつつく天使」 牧師 古屋 治雄
聖書	使徒言行録12:1~11
交読詩編	146
讚美歌	62、286、281 司式 上田充香子

<子どもメッセージ(9時半礼拝のみ)>

- \*11月1日も、9時半からと11時半からの2回礼拝を行います。どちらかご都合のよい時間にご出席ください。
- \*日曜日の朝、体温を測り発熱の心配のある方はご自宅での礼拝をお願いいたします。また、体調に不安のある方はご無理のないようにお願いいたします。

### ◇ 今週の集会 ◇

○火曜礼拝 27日(火)午後3時 礼拝堂  
(主日礼拝と同じ内容で行います。)

祈禱会 28日(水)午後7時半  
礼拝堂・オンライン  
列王記上5章  
「地の塩会修養会のために」  
下関彦島教会(山口県)中島純先生を覚えて

### ◇ 次週の集会 ◇

- CS中高生会(オンライン)午前8時半
- 長老会(オンライン)午後2時

先週集会	男	女	計	献金
礼拝①	21	24	45	37,994
礼拝②	31	45	76	59,400
火曜礼拝	3	7	10	9,100
祈禱会	12	11	23	—
(うちオンライン)	6	9	15	—

### 先週講壇

「愛によって死から命へ移る」  
ヨハネの手紙一3:11~18  
伝道師 上田充香子

◇「死」というものは私たちの生活と決して遠い存在ではない。思いよらぬ形で「死」の被害者になることがある。しかし、同時に私たち自身が「死」の加害者になることもある。「兄弟を憎む者は皆、人殺しです。」(15節)心の中で憎しみを向ける人を私たちは既に殺してしまっているのである。

◇「カインのようになってはなりません。」(12節)人間は皆、創世記4章で、実の弟アベルを殺してしまったカインのような存在であることをこの手紙はよく理解した上でこのように語る。人間には罪があり、人を憎むことをやめることが出来ない。「愛することのない者は、死にとどまったまま」(14節)であり、「永遠の命がとどまってい」(15節)ないのである。

◇その私たちのために罪を背負って死んでくださったのが、主イエス・キリストである。「イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによってわたしたちは愛を知りました。」(16節)私たちが愛し、愛を伝えてくださるためである。その主イエスの愛を私たちはどれ程受け取ることが出来るか。愛を受け取るには、私たち自身が主イエスのように友を、兄弟を愛することが必要なのではないだろうか。「だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。」(16節)主イエスのように愛せるか、そう問われたときに初めて主イエスの愛を自分自身のこととして受け取ることが出来るのである。なぜなら、私たちは主イエスのように兄弟を愛することが出来ないからである。私たちに出来ることは主イエスの愛をしっかりと受け取ることである。そしてその主イエスの愛を、同じように愛されている隣人と共有することである。

◇「互いに愛し合うこと、これがあなたがたの初めから聞いている教えだからです。」(11節)互いに愛し合うことは、主イエスその方そのものの教えである。私たちは何度でもこの教えに、主イエスに立ち帰り、死から命へ移されたことを知り、今度は主の愛を、受けるものから与えるものへ移されていくのである。

## &lt;献金について&gt;

月約献金、その他の感謝献金等は、下記の方法によりささげることができます。どうぞご利用ください。ご不明な点がございましたら、事務室にお尋ねください。

## 郵便振替

記号番号:00110-8-196270

加入者名:日本基督教団阿佐ヶ谷教会

※献金内容は、通信欄に記入してください。  
(教会からお渡しした「払込取扱票」もご利用いただけます。)

## 銀行振込

銀行名:三菱UFJ銀行

支店名:(346)阿佐ヶ谷駅前支店

口座番号:普通 1011835

名義:日本基督教団阿佐ヶ谷教会

※献金内容は、事務室へメール、もしくはお電話かFAXでお知らせください。

## 現金書留

※献金内容は、紙に書いて献金と一緒に封入して、お知らせください。

また、わたしは天からこう告げる声を聞いた。

「書き記せ。『今から後、主に結ばれて死ぬ人は幸いである』と。」「霊」も言う。

「然り。彼らは労苦を解かれて、安らぎを得る。その行いが報われるからである。」

ヨハネの黙示録 14:13

# 日本基督教団 阿佐ヶ谷教会 週報

## 定期集会案内

- 主日礼拝 毎日曜日午前9時半・11時半
- 火曜礼拝 毎火曜日午後3時
- 祈祷会 毎水曜日午後7時半  
(以下、休止中)
- 主日夕礼拝 毎月第4日曜日午後6時半
- 青年礼拝 毎月第2日曜日午後3時
- 教会学校 毎日曜日午前9時
- 日曜求道者会 毎日曜日午前9時10分
- 聖書に親しむ会(木曜求道者会)  
毎木曜日午後7時半

## 聖書日課

26日(月)	創世記 37:1-11	ヨハネ 1:1-18
27日(火)	37:12-24	1:19-34
28日(水)	37:25-36	1:35-51
29日(木)	39:1-6	2:1-12
30日(金)	39:7-23	2:13-25
31日(土)	40:1-23	3:1-21
1日(日)	イザヤ 44:6-17 マタイ 23:25-36	ローマ 3:21-28 詩編 51:3-11

- 主任牧師 古屋 治雄
- 伝道師 上田充香子

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5-18-10  
Tel.03(3337)5879 Fax.03(3310)0932 振替 00110-8-196270  
ホームページ <http://www.asagaya-church.com>  
Eメール [staff@asagaya-church.com](mailto:staff@asagaya-church.com)